

この人の魅力はどこから生まれてくるのだろうか？

「89歳のチャーミングなリーダー、清水直一さん」

「ふれあいオレンジカフェ桃山東」と清水さんの、現在・過去・未来のお話を伺った。

<はじめに・・プロローグ>

清水直一さんという方に最初にお会いしたのは、今年の4月22日の「ふれあいオレンジカフェ桃山東（以下オレンジカフェ）」においてだった。実家の父が何か月前から、地域で行われているこの「オレンジカフェ」という集まりに参加しており、実家にそのチラシが置いてあったのだ。見ると、その日の「オレンジカフェ」の内容がびっしりと書いてあった。その多彩なプログラムにまず驚いた。父によると、この集まりを立ち上げ、運営している責任者が清水さんという人で、89歳だという。俄然、私は、この清水さんという方に興味を持った。どのような方が「オレンジカフェ」に集まっているのか、そして、その集まりの主宰者の清水さんは、どのような方なのか？

私は、4月22日、「オレンジカフェ」に参加して、その活動を目の当たりにした。その日清水さんとあまり長くはお話できなかったものの、まずは初めて顔を合わすことができた。その後、清水さんに「オレンジカフェ」の勉強会（近況座談会）に誘われ、参加することになり、だんだんメンバーの方々の顔を覚え、清水さんとも少しずつ話をするようになった。その勉強会の席で、清水さんが何年も前から企画として温めていた「郷土史跡探訪ウォーキング」の実施が案内され、伏見の歴史に興味のある私は当日ウォーキングのお手伝いとして参加した。そして、この時に以前から、まち歩きの企画「だいがトレジャーハンター」で一緒に活動を行なった醍醐いきいき市民活動センターにもお声かけして、お手伝いスタッフとしての参加をお願いした。

なお、清水直一さんへの聞き取りは、私が清水さんと1対1で行うという形ではなく、オレンジカフェ、醍醐いきいき市民活動センターそして、70's Projectの各々のメンバーが総勢10名が集まり、まずは懇談という形から始まった。

■現在

<オレンジカフェって何？>

清水直一さんは、89歳、現在、京都・伏見の桃山東でお住まいである。現在、地元において、月2回、毎月第2・4水曜日に「ふれあいオレンジカフェ桃山東」（以下オレンジカフェ）を開催している。オレンジカフェとは、認知症の方の自立支援を行う集まりのことで、認知症予防のための活動に力を入れている。京都において、最初に、オレンジカフェが出来たのは、3年前「オレンジカフェ今出川」だ。京大病院の武地一先生の指導のもと、ここでは、かなり重度の認知症の方の自立支援を行っているとのことだ。

・ ・ オレンジカフェ今出川の記事をアップ ・ ・

清水さんは、そこでの活動をもとにして、昨年10月に、仲間とともに地元でオレンジカフェをオープンさせた。月2回、10時半から15時半の5時間、桃山東文化ホール西隣の「桃山町西町集会所」(参加費無料、申込不要)で開催している。プログラムは、3部構成となっており、1部(10時半から12時)は「おしゃべり喫茶」が行われる。2部(13時半から14時半)は「お楽しみ番組」・ ・ テーブル毎に、お絵かき、折り紙、けん玉、トランプ・かるた・百人一首、マジッククイズ、ストレッチ・ロコモなどが行われる。3部(14時半から15時半)は、「特別番組」・ ・ 体験発表、出前講座、ドキュメンタリー上映会などが行われる。本当に多種多様な内容だ。毎回平均して、20名の一般参加があり、サポートスタッフは、約17名で運営している。